

——「理想」と「現実」の狭間で葛藤する登場人物たち——
中原中也論——死生観・泰子・リズム——

『源氏物語』明石の君論
美化語について

小川洋子『妊娠カレンダー』論
——毒薬で隠された真の恐怖——

「言葉づかい」が相手に与える印象について

——相手による「言葉の選択」——

芥川龍之介『羅生門』論——語り手の介入の必要性——
コミュニケーションツールの多様化

安部公房『砂の女』論——男はなぜ逃げなかったのか——
現代社会における「女ことば」

少年の生と死——国木田独步『春の鳥』論——

島本理生論

『更級日記』論

LINEスタンプについて

芥川龍之介『舞踏会』論

いっばい・たくさんから考える類義語

褒め言葉に対する返答

樋口一葉作品におけるフェミニズムについて

谷崎潤一郎『秘密』論

近代女性文学における女性と家父長制について

遠藤周作『沈黙』論——各々の「神」の存在——

樋口一葉の小説を中心にして見る当時の女性の生活

藤井里可子

古田 千河

星 英里子

堀内 結衣

堀江 南実

榎島 由莉

増田 真子

松土 愛菜

松本菜々子

光山 薫

宮田 冴海

宮本 夏希

武藤 紗耶

村田 絵梨

室伏 彩

安川 文音

矢野 朱夏

山口亜理寿

吉田 優美

渡邊 百華

五十嵐茉穂

齋藤 夏海

大学院修士課程国語国文学専攻第二十六回生 修士論文題目 ——令和三年修了——

津島佑子『電気馬』論

——「雪少女」「サヨヒメ」「電気馬」——

齋藤 花琳

言葉と他者との関係性

——江國香織『デューク』と太宰治『浦島さん』——

武井 理紗